

みんなの議会 おおさと

NO.194

定例会



町花：つつじ

愛情を込めて
モロヘイヤうどん復活!!

2019 令和元年5月1日
宮城県大郷町議会

2 令和元年度予算

12 平成30年度予算

大幅減額補正

6 町当局へ15項目の意見を提言

16 一般質問

31 追跡リポート

その後どうなった

令和元年度 一般会計予算

「平成」から「令和」へ

前年比 1億8600万円減

45億9800万円

各種記念事業

合併65周年
町制施行60周年

- 建町記念式典 64万円
- おおさと夏まつり 637万円
- おおさと秋まつり 340万円
- 劇団ミュージカル・ジパング 青春期 162万円
- NHK特別巡回ラジオ体操 100万円

子育て世帯への応援

継続

- 幼稚園・小学校・中学校の給食費の無償化 3125万円
- 保育所等主食費補助（事業費） 67万円
- 小学校・中学校入学時運動着の無償支給 167万円

移住・定住の促進

新規

- 産学官連携事業（地方創生推進連携協議会補助金） 771万円

継続

- 公営住宅の建設事業費 2億6304万円
高崎団地13戸の建築工事費
- 定住促進にかかる各種助成金制度 949万円
空き地バンクは新設

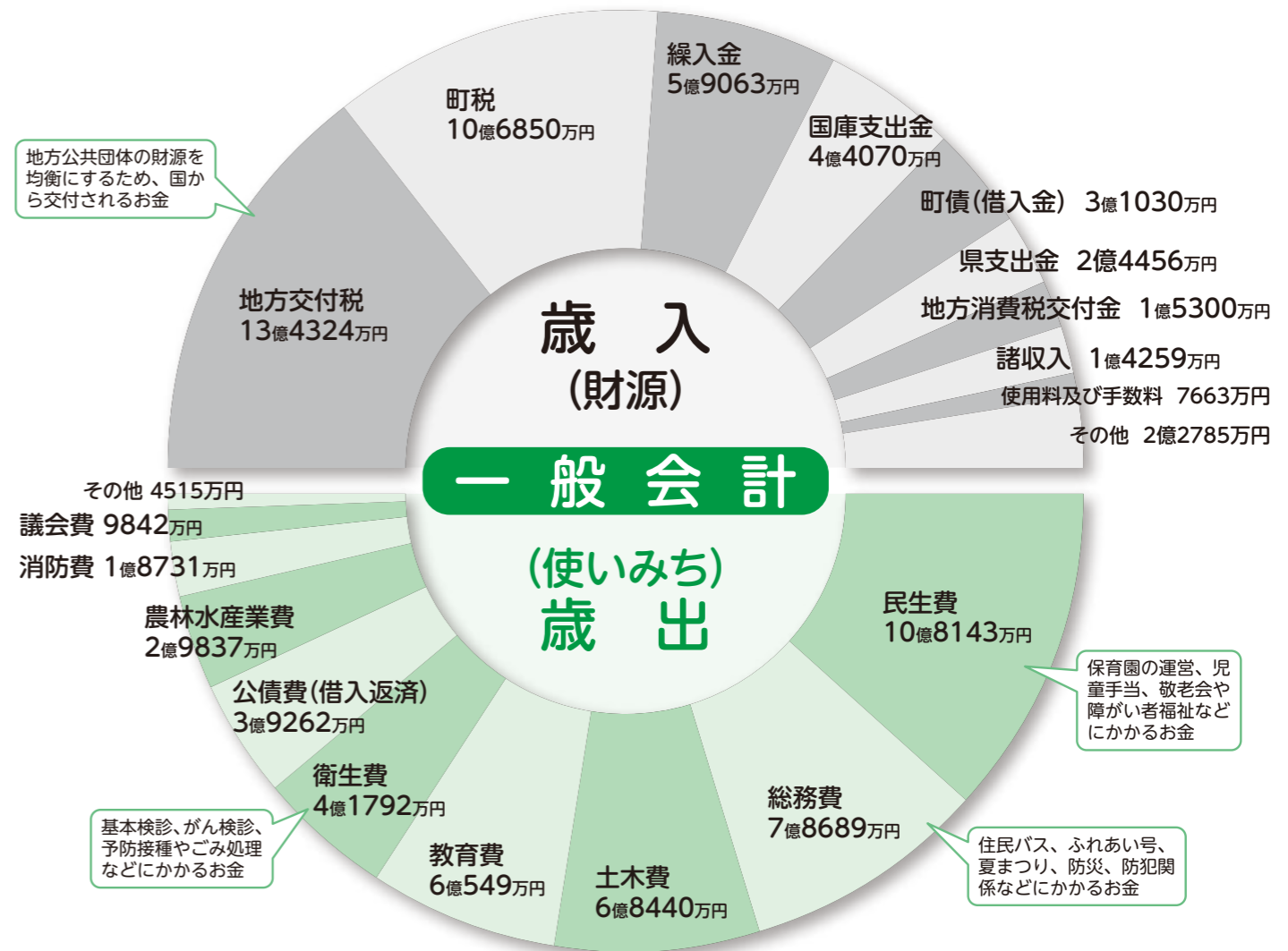
後継者対策

新規

- 一年成婚事業 352万円
- 婚活イベント 98万円

高齢者支援

- 高齢者の外出支援事業「ふれあい号」 883万円
本格営業に向けた試験運行費

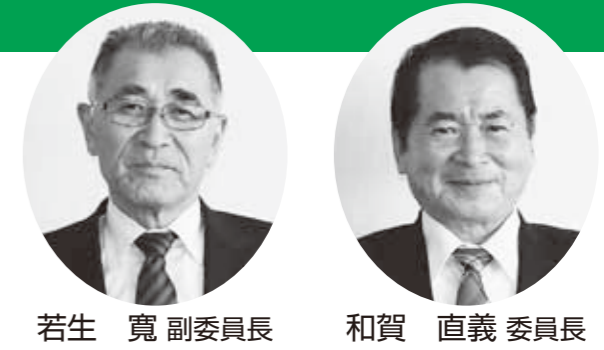


特別会計・事業会計予算額

国民健康保険 8億5411万円 7126万円増	介護保険 10億5776万円 694万円増	後期高齢者医療 8265万円 171万円減	下水道事業 2億2956万円 1154万円減
農業集落排水事業 5852万円 359万円増	戸別合併処理浄化槽 6488万円 82万円増	宅地分譲事業 1438万円 9777万円減	水道事業会計 収益的支出 2億2505万円 427万円減 資本的支出 9908万円 5401万円減

一般会計・特別会計・水道事業会計予算を 徹底検証

令和元年度の予算を詳細に審査するため、予算審査特別委員会を設置（委員長：和賀直義委員）し、延べ6日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議しました。



若生 寛 副委員長

予算審査

婚活事業

問 若い世代だけでなく、対象年齢を広げてはどうか。
答 今後検討していく。

アンテナショップ事業

問 町長のアンテナショップ構想から1年経過しても売るのが無いと実現していないが、商品の考案や作成を行ってきたのか。
答 商品開発については、まちづくり政策課と農政商工課が連携し、進めたい。

空き家対策

問 倒壊しそうな空き家に対し、顧問弁護士と協議し、対策を講じるべきではないか。
答 法的な問題があるので、課題解決に努めていく。

分館の修繕工事

問 分館の※4修繕工事は、地区でできないのか。
答 修繕工事については、4月から地区が工事し、その50%を町が補助することとした。

図書購入

問 図書購入費でどのくらいの図書を購入し、現在の図書の冊数は。
答 毎年図書購入費30万円で、買える本は250冊くらい。図書室には現在1万冊ほど蔵書している。

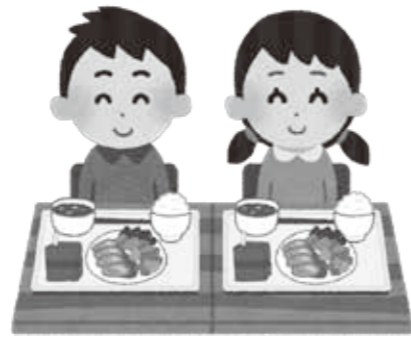


予防接種

問 予防接種の料金は。
答 新生児訪問のときに説明し予防接種券を渡し、※1 A類疾病の場合、自己負担金はない。高齢者向けの※2 B類疾病は一部自己負担になる。

交通安全運動

問 住民バス車両に、交通安全の横断幕をつけるなどして交通安全を呼びかけてどうか。
答 磁石式のステッカーがあるので対応する。



栄養摂取基準

問 学校給食で栄養バランスが間違いなくとられているのか。
答 栄養摂取基準を満たしている。今後も、安全で安心なより栄養価のある給食を提供していく。

名産品

問 珍しい野菜を全国から探し、大郷の名産品にする考えは。
答 公社、産直友の会等と協議を進め、県との連携を図り、特色のある野菜を作れるような体制を進める。



▲リニューアルした道の駅

財政調整基金

問 財政調整基金残高が年々減少している状況を、認識しているのか。
答 残高は9億円で、今年度も基金を取り崩して予算を組まなくてはならない状況である。

住民バス

問 住民バス利用者が減少している状況の中、バス購入は必要なのか。
答 新車を購入すると20年は使用でき、いろいろな意味でメリットもデメリットもある。

集落機能維持事業

問 ※3地区集落機能維持事業の平成30年度の実績は何地区か。
答 合計8地区からの申請があり、210万円の交付状況である。

国民健康保険料

問 保険料は何年後に県統一化なるのか。
答 県と構成市町村で会議を設け内容について、来年以降も検討していくこととなっている。

介護保険特別会計

問 認知症予防に関する考えは。
答 MCI軽度認知症のテストを実施した。また、認知症予防の教室も行っている。

後期高齢者医療保険特別会計

問 保険料を自治体として軽減することは出来ないのか。
答 医療費の抑制に努めることにより、県全体で下げられないと考える。



▲築館公園から見える田園風景

※4 修繕：建設当初の機能に戻すこと

※1 麻疹・風疹・日本脳炎・水痘・ヒブ等
※2 高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌等
※3 集落の維持、再生及び活性化を図ることを目的に住民自らが活動する経費に対する助成事業



移住定住推進を

空き家・空き地バンクを有効活用し、移住・定住促進を図られたい。

問 定住促進策で、遊休不動産活用の具体的な計画は。

答 開発センター内に官民連携窓口を作り、空き地、空き家バンク情報を提供し、移住定住推進を図る。



危険ブロックの解消を

ブロック塀の安全確認を実施し、危険なブロック塀の早期解消を図られたい。

問 学校周辺500m圏内だけでなく、全地域を点検できないか。

答 点検は500m以内だが、補助としては全地域を対象に実施している。



返礼品の充実を

ふるさと納税の返礼品の充実を図り、寄附金の確保に努められたい。

問 返礼品として大松沢にある、農業法人のトマトを加える計画はないのか。

答 バラエティー豊かな返礼品にと思い、話をしているが、まだ具体的になっていない。



町内外に広く情報発信を

インターネット等を活用し、町の重要施策（子育て支援、移住・定住促進事業等）の情報を町内外に広く発信されたい。

問 大郷の良いところを、若い世代に伝わるように、ホームページ改善に取り組むべきでは。

答 子育て支援が充実していること等、町内外にアピールできるよう工夫をしていきたい。



認定こども園のスムーズな移行を

幼保連携型認定こども園のスムーズな移行に万全の態勢で臨まれたい。

問 認定こども園に移行するための準備は万全か。先生の確保は。

答 スタートがスムーズにいくように最後の準備、調整を行っている。教員は保育園から3名と臨時教員1名。運営の部分は運営法人でスタッフの確保を図っている。



町無形文化財保護育成を

町無形文化財のさらなる保護育成に努められたい。

問 文化財の保護について新たに何か特別な考えを持っているのか。

答 町で対応を考えており、児童館に行っている子供たちを対象にしてバックアップに全力を注いでいる。今後も引き続き、支援していきたい。



ごみ減量化を

ごみの分別を周知徹底し、ごみのさらなる減量化を図られたい。

問 新年度において、特別な計画はあるのか。

答 研修会の回数を増やすなどして、環境衛生組合長と連携し、ごみ減量化を検討する。



健康増進の推進を

健康増進事業のさらなる推進を図られたい。

問 健康づくり教室を企画する中で今年の計画は。

答 ウォーキング教室などを開催し効果的な歩き方などを学んで、進んで歩くことを楽しむ事業にしたい。関連の事業を健康づくりとして3回ぐらい持ちたい。



がん検診の周知徹底を 国民健康保険特別会計

がん検診の周知を図り、さらなる受診率向上に努められたい。

問 各種検診の周知に対する新たな工夫はないのか。

答 チラシの工夫等、広報活動を一層強化していく。



消防団員減少に歯止めを

消防団員の確保に努められたい。

問 一般団員を辞めても、機能別団員として残ってもらう方法はとれないか。

答 強制的に残すことはできないので、残るよう声掛けはしている。



物産館等の有効活用を

物産館2階及び開発センター、縁の郷の利用計画を早期に策定し、有効活用を図られたい。

問 リニューアル後、物産館2階が宴会に使用できなくなったが、今後の計画は。

答 様々な意見を踏まえ、早急に町民ニーズに応じていきたい。



駆除実施隊員の増を

鳥獣被害対策実施隊等の強化を図り、鳥獣被害防止に努められたい。

問 イノシシ駆除実施隊の人数を増やすための予算は。

答 有害鳥獣対策協議会で、どの程度助成できるか検討する。

一部条例改正を9件審議し、7件は原案通り可決、1件は否決、議員発議の修正案1件を可決した。

3月定例会
条例改正

議員発議の 修正案を可決

特別敬老祝金支給条例の一部改正

支給対象者	現行(円)	原案(円)	修正案(円)
80歳	10,000	10,000	10,000
88歳	30,000	10,000	10,000
90歳	-	10,000	10,000
99歳	50,000	10,000	10,000
100歳	500,000	100,000	300,000

緊急動議
100歳の金額を30万円にする修正動議を提出
【提案理由】他町村と比較し原案は低すぎる、30万円に修正する。
【発議者】熱海 文義議員
赤間 茂幸議員

緊急動議

主な質疑

問 100歳の下げ幅が、かなり大きい。

答 保健福祉課長 3つのシミュレーションを示し、政策審議会の答申の結果である。また、100歳までの間のサービスを厚くすることとした。

問 近隣自治体の状況は示したのか。
答 提示した。

討論

修正案賛成

若生 寛議員

一気に10万円では、50万円を楽しみにしている方が、がっかりする施策ではないか。また、他市町村と比較しても30万円が妥当と考え賛成する。

【審議結果】

賛成多数で修正案可決

議案採決結果一覧表

議案名 (略称)	採決結果	議員													
		赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦
特別敬老祝金支給条例(修正動議)	可	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-
特別敬老祝金支給条例(修正部分を除く原案)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。



加入促進を図れ

戸別合併処理浄化槽特別会計

加入促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。

問 昨年度は設置基数減であったが、今年度の加入促進対策は。

答 下水道フェアをとおして、また地元へ飛び込んで、下水道の整備方針等を示し、加入促進を図る。



介護予防の充実を

介護保険特別会計

介護予防事業の充実を図られたい。

問 介護支援サービス事業を、どのような形でよりよく進めていくのか。

答 今は介護サービス事業者が行っているが、今後ボランティア等でサービスを充実していきたい。



石綿セメント管の早期更新を

水道事業会計

石綿セメント管の早期更新で収率向上に努められたい。

問 更新事業完了予定が5年延び、13年後となったが、早期の更新を行う対策を。

答 町単費や起債で行っているが、国の補助金等があれば積極的に活用し、早期完了に努力する。



討論

一般会計

反対 千葉勇治議員

遊休不動産の活用等、町の基本計画で最重要課題と力説されている事業の多くが先送りされていると考える。また、基幹産業である本町の家族農業に対する支援策はほとんど見当たらない。町独自の基幹農業振興策を急いで構築することこそが本町の発展方向が見い出せるものと考えている。

反対 大友三男議員

現在運行に全く支障がなく、必要根拠が認められない58人乗りの中型バスを2225万円もの未来づくり基金を取り崩し、なぜ購入するのか理解できない。依然として基金の取り崩しや町債に頼る予算が計上されており、財源不足といいつながら行政改革に取り組んでいないと判断し反対する。

賛成 赤間 滋議員

新たな取り組みとして、産官学に金融、福祉等の各分野との連携による地方創生協議会を立ち上げ住宅誘導を図っていくなど高く評価できる。予算審査では多くの課題も見えてきたが、さらなる行政改革を進め、町民へサービス低下をさせることのないよう、努力と検証を期待し賛成討論とする。

議員定数削減(案)を 否決

住民からの
直接請求による
14名→12名

議員定数条例 の一部改正

定例会

3月8日、議会議員の定数に関する特別委員会が設置され、3月13日、19日の審査の結果、本議会において、否決すべきものとの委員長報告を受け討論・採決を行った。

直接請求代表者 意見陳述

直接請求代表者 只野 茂博氏
「大郷町は人口減少が続き、財政環境も豊かではない現状である。議員定数の削減と若い世代が議員を志す環境・待遇改善を提案し、議員定数を12名にする条例の改正を請求する。」



▲直接請求代表者の意見陳述

主な質疑

問 待遇改善の金額は。
答 町長 1名分の報酬を12名に均等に上乘せする。
問 12名にすることに由る本町のメリットは。
答 町長 人口10000人に一人の議員が妥当と考える。町長選挙があれば公約として戦う。
問 削減すれば議員を目指す若い人、女性が少なくなる。削減すれば逆に合わせになる危険性を含むことになる。14人で何の問題があるのか。
答 町長 土日の議会開催、報酬を半分にして議員を倍にする事も考えたらいいのでは。

その他の議案

課設置条例等の一部改正
「企画財政課」を「財政課」、「まちづくり推進課」を「まちづくり政策課」に改める。
問 企画財政課を企画と財政になぜ分けたのか。
答 総務課長 まちづくり体制を強化する為、企画部門を「財政」と切り離し、まちづくり政策課で推進する。
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
働き方改革を推進する為、超過勤務命令を行うことができる上限を定める。
職員の給与に関する条例の一部改正
現行6級制から、参事、総務課長など重要な業務職を対象に7級制を設ける。
問 7級に相当する職務は規則で定めるとなっているが。
答 総務課長 この条例、規則に基づき、任命権者の町長が人事評価を行い、昇格、昇給を決定する。
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
法律改正に伴い、貸付金の利率を規定。
介護保険条例の一部改正
10月以降の消費税増税に伴い、低所得者の1号保険料の軽減するため。
町営住宅条例の一部改正
連帯保証人を町外まで広げる。
問 保証協会を利用することは検討したのか。
答 地域整備課長 近隣自治体での利用は見られないので連帯保証人とした。
議会委員会条例の一部改正
課設置条例の可決に伴い、委員会発議により改正を行った。

討論

賛成 高橋壽一議員

近隣の町村では、人口減による議員定数の削減が行われている。本来ならば議員提案にて全会一致で賛成すべきだ。

反対 千葉勇治議員

定数削減は、陳述者と町長が一体となって取り組んだものでは。町長は、人口10000人に一人の議員でもいいと発言しているが、議会に対する干渉がひどすぎる。

賛成 佐藤千加雄議員

定数を削減しても各議員が複数の委員会に所属すれば議会運営に支障はない。若者や女性が議会に参加するためには、報酬の改善は必要不可欠だ。

反対 若生 寛議員

人数が多いほど町政に町民の声が反映できる。定数の件は、十分な時間と議論を重ねる必要がある。

賛成 高橋重信議員

特別委員会が開催され議員の大半が反対意見を述べている。デメリットを訴えているが、町民の声を聴き直接請求について再度検討すべきである。

反対 大友三男議員

今年の選挙まで5カ月しかない。前回の定数削減議決(平成18年)同様、町民の意見も尊重しながら、審議する時間を設けるべきだ。今回は時期尚早だ。

反対 石川壽和議員

町民の方256名の署名をつけての要望はかなり重いものだと自覚している。今後時間をかけて、本当に若い世代が議員を志せるような待遇改善を模索しながら議論を重ねることが重要である。

議案採決結果一覧表

議案名(略称)	採決結果	石川良彦	吉田茂美	千葉勇治	石川秀雄	高橋壽一	高橋重信	和賀直義	赤間 滋	若生 寛	石川壽和	熱海文義	佐藤千加雄	大友三男	赤間茂幸	議案名
課設置条例等について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案名
職員の勤務時間、休暇等に関する条例 超過勤務の上限を1月45時間まで、年間360時間までとする	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案名
職員の給与に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案名
災害弔慰金の支給等に関する条例 利率の変更、償還方法の年賦・半年賦に月賦を追加する	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案名
介護保険条例 1号保険料の軽減料率を定めるため、対象年度の更新をする	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案名
町営住宅条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案名
議会議員定数条例	否	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案名
議会委員会条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案名

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

定例会

3月定例会
補正予算

平成30年度予算 大幅減額補正

一般会計と7特別会計及び水道事業会計の補正予算が提出され、原案どおり可決しました。

一般会計は2億9671万2000円を減額し、歳入歳出それぞれ50億2334万4000円となりました。

今回の主な歳入

543万円

水道新規加入



歳入

公営住宅高崎団地の建設、戸建て住宅、アパート等の建設によるもの。

439万円

ボート・場外馬券場交付金



歳入

双方ともに売り上げ増によるもの。

5756万円

固定資産税



歳入

太陽光発電関係の償却資産増加等によるもの。

5160万円

町民税



歳入

個人所得の増や法人の業績が回復傾向によるもの。

今回の主な事業

35万円

風疹の予防接種助成



歳出

風疹の免疫抗体保有率が他の世代と比べ、低くなっている昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、4月にクーポン券を送付する。

84万円

プレミアム付き商品券(事務費分)



歳出

消費税増税による影響緩和、消費喚起を促す目的。平成31年度住民税非課税者と、3歳児未満の子供がいる世帯の方が対象。額面2万5000円の商品券を2万円で購入できる。

主な質疑

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊募集の考え方は。
答 大事にしながら本町と生まれ故郷とのパイプ役となれるよう指導していく。

老人クラブ補助金

問 老人クラブ補助金減額の理由は。
答 21クラブに交付している。3クラブが活動中止のため支出していない。

農林系汚染廃棄物

問 農林系汚染廃棄物の農地へのすき込み処理の状況は。
答 農業公社には発注済みであり、4月中に終了したい。

大幅減額補正

問 なぜ、3億近くの大減額となったのか。
答 各課事業の確定により積み上げたもの。

討論

一般会計補正予算

反対 大友三男議員

ほとんどが減額補正であり、予算編成に見通しの甘さを感じる。町民生活に密着している生活道路や赤道の舗装工事を進めるべきである。中型バス購入理由に一貫性がなく、必要とする根拠が見当たらない。現在試験運行中の「ふれあい号」に使用できる車両の購入に充てるべきである。

1月30日(水)

猛暑対策に 小中学校エアコン設置決定

平成31年第1回臨時会が1月30日に開催され、小・中学校のエアコン設置費等の補正予算や高崎団地新築工事請負契約の締結について審議し、原案どおり可決しました。



▲エアコン設置が待たれる大郷中学校

一般会計

大郷小・中学校
エアコン設置へ予算計上

問 設置費が約1億5462万9千円のうち、国交付税措置を考慮した、町の負担はいくらか。

答 企画財政課長 国庫補助が2500万円、起債分が2900万円、合計約5500万円、町の持ち出しは1億500万円程度になる。

問 負担がかなり大きい。自治体間で組織を作り、国へ働きかけては。

答 町長 町村会でも引き続き議論する。

高崎団地新築工事
第三工区契約締結

問 予定価格5607万3千円組んでいて、契約価格が3558万6千円になって工事等は大丈夫なのか。

答 企画財政課長 業者の事務所が大和町にあり、部品材が近くにあるため、大分コストが下がるので利益も確保できる。

	内容	金額	業者名
第三工区	木造平屋建て2棟	3558万6千円	大東住宅(株)
	木造2階建て1棟		

ふるさと納税大幅アップ

ふるさと納税寄附実績

平成29年度
3708件・5900万4千円

平成30年度(1月末見込額)
7045件・8916万円

必要経費を除く約2400万円を未来づくり基金に積み立てます。

ふるさと納税の返礼率は
問 歳入5000万円の補正で4140万円の支出がある理由は。

答 企画財政課長 年末謝恩キャンペーンで、返礼率を5割に増額して設定した。

3月25日(月)

エアコン設置の契約締結

平成31年第2回臨時会が3月25日に開催され、工事請負契約の締結について、原案どおり可決し、工事費1億195万2千円でエアコンを設置することが決定しました。



早期の
エアコン設置を

問 工期が9月末という事だが、暑くなる前に設置できないか。

答 学校教育課長 業者と学校で連携を取り、工事の進み具合について議会で説明しながら、工期短縮を図りたい。

議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
第1回臨時会 P14	工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第2回臨時会 P15	工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
3月 月定 例会	一般会計(第6号) 50億2334万円(2億9671万円↓)	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険(第3号) 8億9938万円(194万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険(第3号) 10億1322万円(5614万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療(第3号) 8100万円(549万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業(第3号) 2億3608万円(510万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業(第3号) 5103万円(187万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽(第3号) 5618万円(619万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業(第3号) 6523万円(39万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	水道事業会計(第3号) ①収益的支出:2億3269万円(202万円↑) ②資本的支出:1億4236万円(3497万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
国民健康保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
介護保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
後期高齢者医療	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
下水道事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
農業集落排水事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
戸別合併処理浄化槽	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
宅地分譲事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
水道事業会計	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

(↑)は増額、(↓)は減額
可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

次のページは一般質問

10名が町政を質す

臨時会



高橋 重信 議員

縁の郷への企業誘致の計画は

企業と協議を重ねている段階である(町長)

問 縁の郷経営は、(株)おさと地域振興公社の運営では経営悪化の傾向にある。誘客増など根本的な活性化を図るためには、新たな企業に運営を行っていただくしかないと考えます。縁の郷は夕日の見える丘にあり、景観の良い場所に立地しており、観光資源として大きな魅力である。ロイヤルゼリーを取り扱う企業誘致の話は聞くが、支障がなければ具体的な内容を示してほしい。

答 町長 縁の郷の経営は、これまでも議論されてきたが、物産館のリニューアル同様、何らかの方策が必要である。あのロケーションは、観光資源として魅力である。今回質問の企業に関しては、ロイヤルゼリーに関わる企業であり、誘致に

ドローンを購入し活用する考えは

活用について広く検討する(町長)

問 防災・減災対策に活用すべきでは。

答 町長 災害時に上空から現場を動画撮影でき、被害状況把握する有効な手段と考えている。

問 低空撮影することで、町土全体が詳細に把握でき、町長が進めている500軒の遊休地利用や公共施設・インフラ点検、農業関係など、さまざまな分野での利用ができる、費用対効果を考えても購入し活用すべきでは。

答 町長 民間に委託する方向性も考えながら、他の自治体の導入実績や費用など、情報収集し具体的な活用方法を広く検討していく。



大友 三男 議員

イノシシ対策を

問 本町でもイノシシの数が想定以上に増える可能性があるが、頭数削減策を講じるべきでは。

答 町長 通年駆除も含め、効果的な駆除方法について、鳥獣被害対策協議会の中で実施隊と協議していく。

問 黒川地域で予算を含め、本町は頭数削減策や実施隊助成が遅れている。対策を講じるべきと考えるが。

答 町長 国の補助金を有効活用し、被害防止柵の購入助成や捕獲に対する助成、実施隊員確保に向けた狩猟免許助成を検討する。



▲町土全体を把握し、様々な分野で活用できるドローン

ふれあいの家 送迎の充実を

答 農政商工課長 狩猟免許、わな免許、猟銃等の更新手数料の助成など、具体的な金額についても4月の協議会で決定していく。

問 今後捕獲頭数が増えた場合、黒川行政全体として、ごみ焼却場の焼却処理をすべきと考えるが。

答 町長 行政事務組合で処理しなければならぬというのであれば、関係理事と協議する。

問 利用者の高齢化が進んでおり、デマンド交通「ふれあい号」と同じように、利用者の自宅近くでの乗降にすべきと考えるが。

答 町長 利便性の向上に努めていきたい。

答 保健福祉課長 ルート変更など、希望があれば随時可能な範囲で対応していく。

高崎団地内の 個人所有地について

問 高崎地区内の負担付き寄附を受けた土地に町営住宅の建設が進んでいる。造成地内にある、土地についても無償譲渡していただけないか。

答 町長 高崎団地内の寄附していただけなかつた土地であり、町で造成した土地には含まれていない。

向けて協議を重ねているが、まだ説明できる段階ではない。

問 企業誘致するには、道路整備が重要である。狭く、すれ違いが困難な状況にある。地域全体をリニューアルして、近隣町村だけでなく東北全域から世代を問わず、カップルや家族連れが来て楽しめる場所にするべきだ。

答 町長 進入路の整備は欠かせないと考えるので進めていきたい。



▲すれ違い困難な進入路

一般質問

一般質問



赤間 滋 議員

教育行政の取り組みは

教員の指導力向上を図っていく(教育長)

問 小・中学校での学力の現状と向上策は。

答 町長 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果は、小学校は県平均より少し低く、中学校はほぼ県平均で、学力向上策は「教員の指導力向上」「家庭の教育力の向上」を推進する。

問 いじめ、不登校などへの対応については。

答 教育長 いじめは改善している。不登校は、中学校で増加傾向にあるが、スクールカウンセラー等と連携し改善に取り組んでいる。

問 平成32年4月から幼児連携型認定こども園が開設される。この時期に、本町独自の「幼保、小、中一貫教育システム」を構築できないか。

問 教育長 今年度再構築した小・中連携英語推進委員会、幼・小・中による特別支援教育連携協議会等を中心とした教員の交流、今後は国語、数学指導等でも連携を強めていく。

問 学習指導要領が見直され、小・中学校での英語教育が変わる。英語教育の現状と今後の取り組みは。



▲英語力のさらなる向上を

答 教育長 小学校では3・4年生で外国語活動、5・6年生で外国語指導、中学校では英語担当教員とALTが連携し外国語教育を、小・中連携し教員の指導力向上も図っていく。

新年度の重要施策は

問 町長が不測の事態に職務を代行する副町長をなぜ選任しないのか。

答 町長 副町長の代理決裁のため「参事」の職を配置している。副町長の選任は重要であり、再度、議会に提案する。

問 平成31年度最重要施策の具体的内容は。

答 町長 若い世代や家族の定住化対策を進める。新たな取り組みとして※2産学官に金融・福祉の連携による地方創生協議会を立ち上げ、遊休不動産を活用した住宅誘導を図る。

問 持続可能な力強い農業実現の具体的な振興策は。

答 町長 国・県の補助事業を活用し、担い手や法人等の育成支援に当たり、6次産業化等の支援策も準備する。

※1 ALTとは、外国語指導助手のことである。
 ※2 民間企業、学校、官公庁を指す。

旧大松沢小学校校舎の有効活用を

解体の方向としたい(町長)

問 大松沢の農業法人イゲナルファーム大郷を視察した際、町への要望を尋ねたところ、従業員の住居の確保と農業法人3者の従業員同士が集える場所もあればとの話であった。

答 町長 交流の場は、大松沢社会教育センター等を積極的に活用していただきたい。

問 旧大松沢小学校校舎をリフォームし、雇用促進住宅等にしてはと考える。

答 町長 水道や消防、階段など、改修工事費用が多額となるため、解体の方向としたい。リフォームしても住宅として使えるものではない。大郷町へ住みたい方への住宅提供は、希望するライフスタイルに合わせた住宅情報を提供していきたい。



石川 寿和 議員

虐待防止対策は

問 最近、親から子供に対する虐待事件が多い。町の子供への虐待防止対策は。

答 町長 学校生活における児童、生徒への声がけや観察と乳幼児未受診者への働きかけや、生活相談等多様なアプローチで情報を収集し、潜在的に虐待リスク



▲旧大松沢小学校校舎

のある事案を予防できるよう対応に努めている。

問 町民を巻き込んでというような監視体制には、どのような考えを持っているのか。

答 保健福祉課長 一般の方の対応や受けた側の守秘義務を十分に配慮しながら協力を得られればと思っっている。

なぜ住民検診の場所を変更したのか

問 検診場所を減らした理由は。

答 町長 空調の完備されていない場所での実施に、医師から苦言を呈されたので、受診者の健康を第一に考え、保健センターのみにした。

問 検診場所を減らしても、受診率アップの方策はあるのか。

答 町長 大松沢社会教育センターからマイクロバスでのシャトル便の運行を予定している。

問 町民への周知は万全か。

答 町長 広報紙、ホームページ、防災無線等、あらゆる機会を通じて、周知していく。

一般質問

一般質問



和賀 直義 議員

学力向上は！

日々の授業が基本、授業力を高める(教育長)

問 学力向上対策は。
答 教育長 総合教育研修センターや宮教大と連携したサポーター事業、子供たちが行きたくなる学校づくり、家庭の教育力の向上を推進していく。

問 朝食を食べる子供の平均正答率が高い傾向にある。朝食欠食率を調査し、何回か朝食提供し、「朝食の大切さ」を保護者へ発信することが必要では。
答 教育長 「平成29年度食育アンケート調査」では、小学生11%、中学生29・6%の朝食欠食率だ。「早寝・早起き・朝ご飯」の重要性を子供達や保護者などに周知・啓蒙していく。



▲楽しい英語の学習

問 読解力の向上無くして学力向上は難しい。読書傾向の調査、読書通帳の作成、読書へ向けさせることが重要では。
答 教育長 学力と読書は密接な関係があることから、小学校に図書教諭を、中学校に新たに図書支援員を配置し、図書室の活用を図っていくこととする。

問 小学校の英語教科化が実施される中、ネイティブスピーカーの発音を子供たちに聞かせることは大変有効であり、ALTを2名に増員し、子供たちとのふれあいの時間を増やせないか。
答 教育長 小学校に英語指導支援員、英語専任講師を配置している。ALTの増員は総合的に検討する。

問 「歩けるまちづくり事業」、「生活改善モニター事業」、地域の「通いの場」への保健・栄養指導を実施するとあるがその内容は。
答 町長 定期的なウォーキングイベント、トレーニング、保健師、栄養士がチームとなり、希望者に生活習慣の改善のお手伝いをする事業である。

問 休憩場所を取り入れたウォーキングコースの設定が必要では。
答 保健福祉課長 考慮する。

問 認知症対策とその予防の取り組みは。
答 町長 従来型の介護予防、認知症サポーターの養成、サロンや趣味のグループなどの活性化と支援により、一体的な対策として取り組む。

問 サポーター講座を受けたが、現場で役立つようなさらなる企画が必要では。
答 保健福祉課長 検討する。

安心して暮らせる健康な町

アンテナショップの進捗状況は

今は設ける状況ではない(町長)



問 農産物販売のためのアンテナショップはどこまで進んでいるのか。
答 町長 費用対効果、店舗の場所や形態も含め事業を理解していただける企業を探しているが、店を作っても持つていくものがない道の駅のブースが(午後には)半分ぐらい空になっていく。これをまず全部埋めることで町の役割を果たしたい。今は関東圏にアンテナショップを設ける状況ではない。

問 道の駅リニューアルオープン以降、西側駐車場は誰が借りていたのか。
答 農政商工課長 道の駅リニューアルオープン時、臨時駐車場として十日間無償で借用したが、法面工事が完了していないことから正式な契約はなかった。取り扱いとしては不十分と反省している。

問 法面工事で以降借りるのか、買うのか。
答 町長 3月1日から6月末まで無償使用貸借契約を締結した。今後借りるか、買うか、返すか検討している。



▲民間で整備した西側駐車場 今後どうする

問 空き地・空き家バンクの不動産活用事業の概要は。
答 まちづくり推進課長 町内の空き地1カ所あたり1棟土地代込みで2千万で500棟なので100億円を見込んでいく。

問 遊休不動産の調査は。
答 まちづくり推進課長 現時点では情報収集してない。地方創生連絡協議会が発足する関係から、今後、住宅の情報を提供していく。

道の駅西側駐車場の今後は

遊休不動産について

大郷小学校駐車場は

問 土地を購入し、サッカー練習場、フットサル競技場と併用した形で駐車場を造るといつていたが、文化財が出土したので断念したとの説明があった。もう一度適地を調査していくのか。
答 町長 文化財が出土したのではなく、県の埋蔵文化財に指定されている土地であるため調査に多額の費用がかかるため、断念せざるを得ない。土地については小学校周辺には場所がないが引き続き模索していく。駐車場については自由広場を利用しマイクロバスでピストン輸送する形で対応していきたい。

一般質問

一般質問



千葉 勇治 議員

高校卒業まで国保税の均等割の免除を

子どもを増やす施策の一つとして考える(町長)

問 高額な国保税では、収入が少ない子育て世代の負担が多い。高校卒業までの均等割(医療分で1人当たり1万9800円)免除は大きな子育て支援対策になる。県内自治体で本町が率先して取り組むことは、田中町政の素晴らしい姿勢と理解される。町長の勇断を。

答 町長 対象の子供は150人なので、均等割免除を考えてみる。子育て支援若者定住で子どもを増やそうという施策をおこなっており、そのような環境であることが、他町村に住む子育て世代の方から見れば、確かに大郷のそのような制度がありがたいなと思うような内容となるのではないかな。



▲均等割免除による若者子育て支援で定住化に弾みを

問 8年間で100億円を投じて500戸の住宅利用世帯を呼び込むとすると、町長の未来に向けたまちづくりの基本姿勢を伺う。

答 町長 官民(町と民間企業)が連携し、新たな人の流れを作り出すことで、本町の人口減少に歯止めをかけ、税収アップや地域コミュニティの活性化に繋げていく構想だ。

問 遊休不動産活用によるまちづくり構想は

問 道の駅西側の駐車場整備

答 町長 官民(町と民間企業)が連携し、新たな人の流れを作り出すことで、本町の人口減少に歯止めをかけ、税収アップや地域コミュニティの活性化に繋げていく構想だ。

答 町長 道の駅リニューアルを確保するため、いったん所有者から民間会社に町の条件で譲ってもらい、民間会社に急いで駐車場を整備してもらい現在に至っている。あの地域は将来、町の拠点としての位置付けをしていくものと信じている。今後町が所有するかどうかについては内部で方向性を定め議会で相談していきたい。

シンポジウムの開催を

時期を見て実施する(町長)



佐藤千加雄 議員

問 (株)村上農園、(株)東北アグリヒト、(株)イグナルファーム大郷は、アグリビジネスの先駆者であり、その社長を招きシンポジウムを開催することは町のPR・雇用促進、移住定住にも効果があると考えるが。

答 町長 町にとってまたとない機会である、時期を見て実施していく。

答 まちづくり推進課長 それに向けて調整を図っていく。

問 大郷のブランド化を

答 町長 町民の声を参考に「キヤッチコピー」を作成し、大郷町の魅力を全国に発信したい。

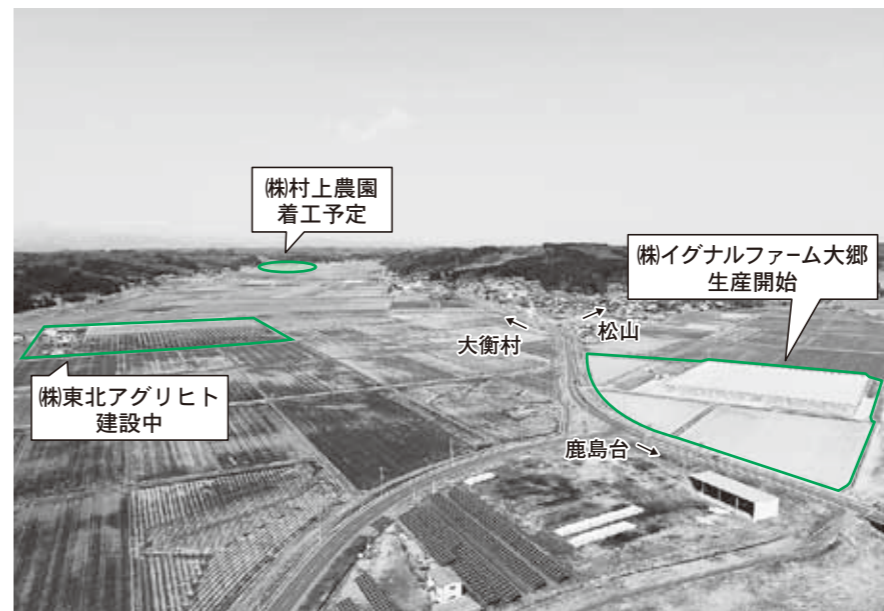
防災対策について

問 配水管口径が細いため消火栓設置できない地域がある。※1消火栓設置可能な管への計画的な布設替えを。

答 町長 計画的に布設替えを行うことは、多額の費用を要するので、※2水道管路近代化推進事業や配水管布設替工事の中で対応している。消火栓設置が厳しい地域は、防火水槽設置で防火対策を講じていく。

問 防火水槽は、初期消火にとどまるものではないか、早期の布設替えの計画を。

答 地域整備課長 水道については、必要に応じて順次整備をしていくもので、ご協力等お願いする。



▲順調に動き始めた野菜工場

※1 設置可能な水道管の口径は75mm
 ※2 石綿セメント管更新事業

問 水道管路近代化推進事業はいつ頃完了予定か。

答 地域整備課長 平成39年度までだったが、他の工事が発生したため平成44年度までの13年間となる。

問 ライフラインの整備が町全体の活性化につながる。補正で早期の対応を。

答 地域整備課長 必要性は十分認識している。創意

工夫を加えながら、整備が行き届くよう努力する。

問 消火栓のない地域を最優先にできないか。

答 町長 これから進める不動産活用事業で、住宅購入する場合の安全対策で、消火栓設置も対策の一つ、事業推進と併せて新たな発想で検討していく。

一般質問

一般質問



赤間 茂幸 議員

乳幼児が遊べる場の提供を

現在ある施設を有効活用する (社会教育課長)

問 乳幼児が気軽に遊べる施設が少ない。体育施設の活用を進めては。

答 社会教育課長 現在ある施設を有効活用して、未就学児の方にも使ってもらえるように活用を広げて、ストライダーの普及を図って行きたい。

問 30代、40代の人たちに対してスポーツ少年団等の指導者育成をどのように考えているのか。

答 教育長 近隣市町村の団体とも連携を図りながら問題解決に当たる。

問 外部指導員を中学校のいろんな部活に適切に配置する考えは。

答 教育長 中学校とよく相談の上、来年度は卓球の外部指導員1名を県に推薦して、県の補助で謝礼金を払う。

基幹産業「農業」は怎么样了

農業を成長産業と捉えた (町長)

問 「施政方針」より基幹産業の文字が消えたが理由はあるのか。

答 町長 農業を単なる基幹産業と捉えるのではなく成長産業と捉えた。

問 補助金対象者は法人や担い手を中心である、個人農業者への支援策は。

答 町長 国・県の補助金対象はその通りである。個人農家への補助金は町単独事業やJA補助金がある。

答 農政商工課長 「頑張る農家支援事業」を立ち上げ、事業内容に応じ補助金を準備している。JA補助金も同様に経営の一端を支援できる枠組みで準備している。



若生 寛 議員

問 戸別所得補償制度の廃止による本町への影響は。

答 町長 地域農業、個別農業経営への影響はあったと思う。国・県に緩和措置等相談したがかんばしい回答はない。今後とも地域農業の安定と補助金を得られるように努める。



▲農業経営の安定化と効率化を目指す

問 産直友の会も含め、作付誘導に向けた指導員を町で配置しては。

答 農政商工課長 指導員の配置については、6次産業化等総合的に産直会員と話し合いを進めていく。

一般質問

町独自の支援を

問 水田協の利用集積事業対象面積拡大による差額分を町独自で対応を。

答 町長 水田協は関係機関や団体代表者で構成された合議体である。利用集積助成金が廃止されたことや、新たな交付金の事業要件も説明し承認を得た。今後とも交付金を得られるように努める。

問 影響の大きい沢地(山間地)への町独自の支援策を。

答 農政商工課長 国策の流れの中やむを得ない。町独自の対応策は考えていない。水田協でも理解している。



トレーニング器具の設置を

問 健康の維持・促進等のために、トレーニング器具等を置ける施設等を設置する考えは。

答 町長 定住促進につながるのであれば検討する。

防衛省へ交付金の要望を

問 道路整備や防音対策のために防衛省へ交付金等を要望する考えは。

答 町長 町道東成田板谷線は、国の全額補助のもと舗装工事を完了している。

一方、王城寺原演習場の射撃音は、現在、交付対象外であるため、あらゆる機会を捉えて国に働きかけたい。

問 防音に関して20から35デシベルの間に音量がある場合、補助金が出るが防衛施設局に申請する考えは。

答 総務課長 早速問い合わせ、測定を働きかけたい。



▲気軽に遊べる施設を

一般質問

おおさと地域振興公社に 関する調査特別委員会

2/19

道の駅リニューアル後の経営状況は



【調査事項】

「道の駅おおさと」リニューアル後の経営状況について

【所感】

- ①町内の特産物開発とさらなる販売努力を
- ②店内外でのイベント開催や情報発信をし、集客増に努力されたい。
- ③道の駅2階のキッズコーナー及び和室の創意工夫を
- ④開発センターのさらなる活用と新たな集客、収益に努力されたい。
- ⑤人材の確保、育成、運営強化のさらなる推進を図られたい。



議会改革 調査特別委員会



町民に開かれた議会を目指して

【調査事件】

大郷町議会の改革、活性化に関する調査研究

【中間報告】

①議会報告会について

平成29年度から町内4ヶ所で実施。町民の建設的な声を反映させ、費用対効果をあげる事業運営を目指すよう、町へ働きかけを強化している。

②インターネット中継について

議会活動の「見える化」を図るため、インターネット中継の導入を検討。今年度中には動画配信のための、システムの更新が行われる。

③議会規則・議会傍聴人規則について

傍聴しやすい環境になるよう、会議規則や議会傍聴人規則の見直しなどに取り組んでいる。

④政務活動費の公開について

平成28年度より用途や領収書、研修報告書等をHPで公開している。

【今後の課題】

通年議会導入の検討、タブレット導入による執行部との情報の共有、連携強化をし、一層の議会改革に努める。

教育民生 常任委員会

1/22

A・L・T増員で英語教育の充実を図れ



【調査事件】

学校教育について

【調査の概要】

大郷小学校を訪問し、2020年度から実施される英語教科化について意見交換を実施

【調査の対象】

- ・大郷小学校
- ・学校教育課

【意見】

- 英語を学習する上で、ネイティブスピーカーの発音を聴くことは大変有効である。本町では外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図るため、A・L・Tを1名配置している。1名で幼稚園から中学校まですべて担当している状況にあるが、ネイティブスピーカーと触れ合う機会を増やすため、A・L・Tの増員を図るべきである。
- 本町では、A・L・T、英語活動支援員、非常勤講師、担任が複数人で指導にあたるチームティーチングを導入しており、英語への興味・関心の向上につながるよう、副教材を積極的に活用するなど工夫が見られた。
- 教員のさらなる指導力の向上につながるよう、町としても教員研修に対する支援を希望する。
- 英語の小中学校一貫した学習到達目標のためにも、幼稚園、小学校、中学校の連携が重要と考える。
- 外国語、他教科を理解する為、国語の基礎を学び、読解力を付けることが大切と考える。

次回は

「健康長寿への取り組みについて」
を調査します。

総務産業 常任委員会

1/28

さらなる徴収率向上を



【調査事件】

納税意識の向上に向けた取り組み状況について

【調査の概要】

庁舎内において、税務課職員4名から詳しく説明を聞き、質疑を行った。

【調査の対象】

税務課

【意見】

- 税徴収については、努力の跡が見られ評価するが、国民健康保険税と固定資産税についてはさらなる徴収率向上に努められたい。
- 督促状や催告、その他の法手続きを広報紙等により、広く、わかりやすく周知すべきである。
- 不納欠損については、滞納処分の執行停止前に、きめ細かな徴収方法の再考と、納税意識の向上策を検討すべきである。
- 納税組合については、地域の納税意識向上のために必要な組織であるため、組合員数減少対策に取り組むべきである。
- 窓口業務については、申告相談・税務相談など町民にとって生活に直結した問題である。真摯な態度で明るく対応することに努められたい。

次回は

「水道事業について」
を調査します。

こんな研修がありました

1/25

宮城県町村議員講座

演題 「地方議員は町のカウンセラー」

講師 宮城県自治会館研修室（議長以下7名参加）

講師 こども家庭教育フォーラム代表
教育・心理カウンセラー
富田 富士也 氏

1/30

茂登枝会との町政懇談会

テーマ 「町の現状と抱えている緒問題について」

場所 緑の郷

2/13

くろかわ商工会会員との懇談会

テーマ 「大郷町商工業振興及び地域振興」

場所 夢実の国



次回定例会

みなさんの傍聴を
お待ちしております

6月4日(火)から
午前10時～
6月7日(金)まで

予定

議会の
生の声を

議会の主な動き (1/1~3/31)

月日	用務	月日	用務
1/4	議員全員協議会	2/18	黒川地域行政事務組合議会第1回定例会(大和町)
1/5	大郷町交通指導隊出初式	2/19	議員全員協議会・公社に関する調査特別委員会(P27)
1/6	大郷町消防団出初式	2/26	議会運営委員会
1/7	黒川消防署出初式(大和町)	3/5~3/20	第1回(3月)定例会
1/8	広報広聴常任委員会	3/5	議員全員協議会・議会運営委員会
1/13	大郷町成人式・新年祝詞会	3/7	広報広聴常任委員会・総務産業常任委員会
1/18	広報広聴常任委員会	3/8	広報広聴常任委員会・教育民生常任委員会
1/20	ふれあいセンター21演芸会	3/8	大郷中学校卒業式
1/22	教育民生常任委員会	3/13	議会議員の定数に関する特別委員会・議会改革調査特別委員会
1/23	JAあさひな総代会(大和町)	3/14	大郷幼稚園卒園式
1/25	県町村議会議長会(仙台市)	3/15	大郷小学校卒業式・議会運営委員会
1/28	議員全員協議会・総務産業常任委員会		総務産業常任委員会・教育民生常任委員会
1/30	第1回臨時会(P14)・茂登枝会新春懇談会	3/17	町婦人会総会
2/3	新春防災懇談会・仙台都市圏セミナー(仙台市)	3/19	議会議員の定数に関する特別委員会
2/7	「北方領土の日」宮城県白石集会(白石市)	3/23	大郷保育園卒園式
2/13	企業誘致に関する調査特別委員会(P28)・議会改革調査特別委員会	3/25	議員全員協議会・議会運営委員会・第2回臨時会(P15)
2/13	くろかわ商工会おおさと支部懇談会	3/26	黒川森林組合通常総代会(大和町)
2/14	県町村議会議長会定期総会(仙台市)	3/28	広報広聴常任委員会
	宮城黒川地方町村議会議長会定期総会(仙台市)	3/31	大郷町ゲートボール協会定期総会

広報広聴常任委員会



奨励賞
受賞

おおさとみんなの議会が
第38回県町村議会広報選考
会において2年連続で奨励
賞を受賞しました。



編集委員

委員長 吉田 茂美 副委員長 赤間 茂幸
委員 大友 三男 委員 佐藤千加雄
委員 若生 寛 委員 和賀 直義
発行責任者 議長 石川 良彦



企業誘致に関する 調査特別委員会

2/13



【調査事項】
企業誘致の現状と今後の取り組み
【調査の概要】
①まちづくり政策課
②(株)イグナルファーム大郷

「株イグナルファーム大郷」を訪問



【概要】
イグナルは「良くなる」の方言。農業、地域、関わる人、すべてが良くなればと願いを込めた社名である。

- ①平成29年に(株)イグナルファーム大郷を設立し、ミニトマトなどを栽培している。
- ②技術や経営のノウハウを習得した若手農業者を増やしていきたい。
- ③持続可能な地域農業を将来に向けて目指している。

【所感】
①早急に町外の従業員向けの住宅確保が望まれる。
②財政負担が少ない大郷の食や観光、農業などの産業に貢献できる企業誘致を望む。

委員会

第70回 追跡レポート

無形文化財の伝承支援を

貴重な文化財の保管に努め、文化財伝承にさらなる支援を図りたい。
(平成29年度各種会計決算審査意見書より)

社会教育課長

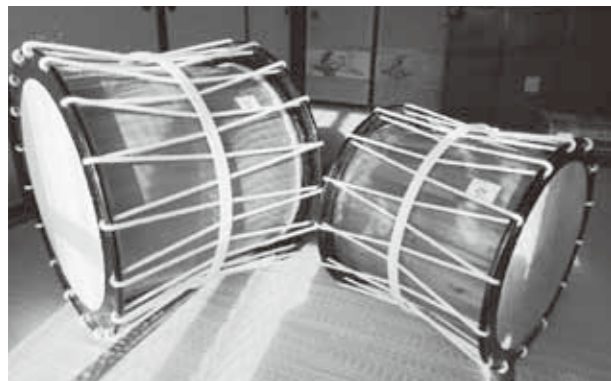
補助額が少ないと思うので補正予算などで対応したい。
(平成29年度決算審査特別委員会答弁)

その後の対応と今後の計画

宝くじ助成（コミュニティ助成）事業を受け、宮林神楽の演奏に欠かせない和太鼓の修理を実施しました。また、継承者不足に対応するため音源のデジタル化と演奏録画DVDを作成しました。羽生田植踊は児童クラブの児童に継承し、おおさと夏まつりと生涯学習フェスティバルで演奏しました。あわせて、子供用衣装購入のため平成31年度補助額を増額で予算化しています。

今後も、若い世代に継承していきけるよう支援していきたいと思います。

社会教育課長



▲修繕した宮林神楽の和太鼓

認知症対策を

地域住民全体を対象とした認知症に関する啓発運動及び65歳以上の方を対象にMCI(軽度認知障害)の早期発見と予防事業の実施に早急に取り組むことを強く求める。

(平成29年9月議会／教育民生常任委員会報告書より)

その後の対応と今後の計画

認知症に関する啓発運動としては、認知症サポーター養成講座の開催やオレンジ新聞の発行、健康まつりやまちカフェでの認知症啓発ブースの設置等を行い、住民に向けて認知症に対する正しい知識等の啓発に取り組んでいます。

MCIの早期発見・予防に向けた取り組みとしては、住民を対象とした脳の健康教室の開催や*ファイブ・コグ検査を実施し、各々低下した機能向上の為のポイントを書面にて送付し認知症予防を図るほか、認知症地域支援推進員のアウトリーチによる潜在的なケースの洗い出しに努め、早期介入を行えるような再生を整えております。

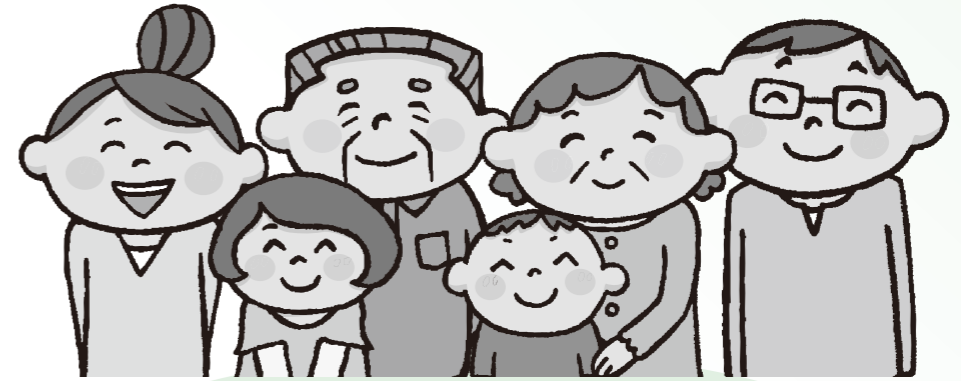
今後も認知症に関する啓発運動や早期発見・予防の取り組みを進め、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに努めてまいります。保健福祉課長



▲ファイブ・コグの様子

※ 高齢者用集団認知検査

第3回 議会報告会



開かれた議会をめざし、皆様の地域に議会活動の状況を報告・説明に伺います。
下記のとおり報告会を開催いたします。

あなたの意見をお聞かせください。

- 内容(予定) ①平成31年度大郷町予算概要について
- ②意見交換会

会場	日 時	担当班(議員)
大松沢社会教育センター	5月18日(土) 午後7時～8時30分	1班
ふれあいセンター21	5月18日(土) 午後7時～8時30分	2班
中 粕 川 分 館	5月19日(日) 午後7時～8時30分	1班
中 村 分 館	5月19日(日) 午後7時～8時30分	2班

1班：大友三男 佐藤千加雄 熱海文義 若生 寛 赤間 滋 高橋壽一 石川良彦
2班：赤間茂幸 石川壽和 和賀直義 高橋重信 石川秀雄 千葉勇治 吉田茂美

※どの会場でも参加できます。

どなたでも参加できますので お気軽にご来場ください。



町の産業に

インタビュー



軽食
福美 (中村)

高橋 ^{ふくみ} 福美 さん

軽食「福美」はいつから始めましたか？

昭和63年からです。麺作りは平成30年4月から始めました。

始めるきっかけは？

機械を2年間、どなたも使用していなかったため、始めました。

店の方針は？

店と道の駅に出品したいです。

オススメのメニューは？

大根つばカレーとうどん（天ぷら、かけ、カレー）です。

地場産（モロヘイヤ等）のメニューの種類は？

うどん、蒸しパンです。

苦労していること、大変なことは？

麺の機械が古いので、心配です。

楽しかったことは？

皆さんとお話しできることです。

今後の目標は？

1日でも長く健康で仕事をすることです。

編集後記

山々の木々が芽吹き新緑に囲まれる景色を眺めるのが私は一番好きだ。

躍動する季節そのものだ。

新元号が発表され平成もまもなく終わろうとしている。東日本大震災等多くの災害が発生した時代でもあったが、「令和」にあつては災害のない時代になって欲しいと願うばかりである。

吉田 茂美